

ON・I・ON2入門セミナー

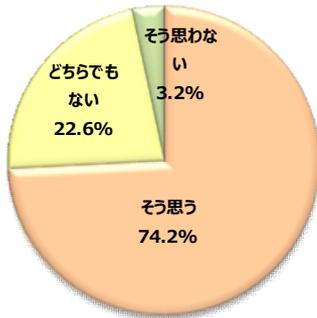
～開催結果のご報告～

- 開催日：2017年11月7日（火）
- 会場：アイオス五反田ビル
- 講師：（公社）国際経済労働研究所
専務理事 兼 統括研究員 八木隆一郎

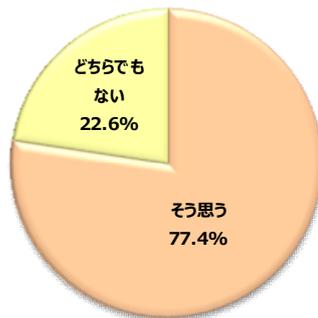
この度は『ON・I・ON2入門セミナー』にご参加いただき、誠にありがとうございました。
セミナー終了後、参加者の皆様にご記入いただきました「感想シート」の内容をまとめましたのでご報告いたします。
(出席者数:31名 回答者数:31名)

■アンケート集計■

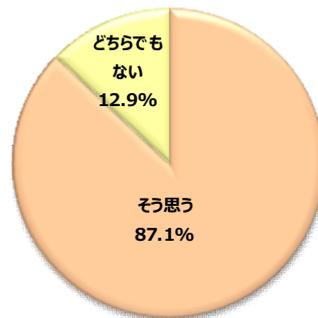
1. 今回のセミナーへの期待は大きかったですか？



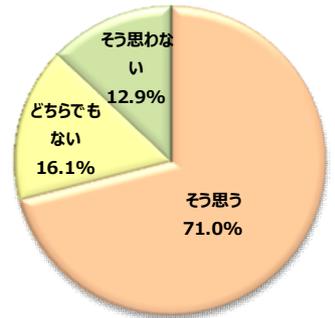
2. ON・I・ON2の内容に興味や関心をもたれましたか？



3. 講師のレクチャーはわかりやすかったですか？



4. セミナー全体として満足されましたか？



■感想コメント（気づき・ご意見など）■

- ・労働運動そのものの話や歴史的な出来事と絡めて説明して頂いたので、**非常に勉強になった。**
- ・様々な事例を出して説明していたため頭に残った。**組合員と執行部の関わり合いについて考えさせられる内容**だった。
- ・本部執行部と組合のあり方を見直す気持ちが固まった。自発的に「一緒」に運動を起こした頃の気持ちに近づきたい。企業内だけの活動だけではなく、**他労組との活動により業界を変える可能性を感じる**ことができた。
- ・運動論に対して今の時代とのバランスをさせるタイミング。これからの労働組合、労働運動のあり方を考える**きっかけ**となった。労働組合役員として内外から見つめ直す必要がある事がわかりました。
- ・「組合員はお客様扱いしない」この意味がよく理解できました。「社内ボランティア組織」「運動性の回復」など、**自身の今後の取組みのヒントになるワードが拾えた**ことが良かったです。
- ・ワークモチベーションと企業業績の関係性については大変興味深かった。**自社のあるべきところ、目指してはいけないところを探していきたい。**
- ・大きな企業だから人も多く、組合費も取れるから組合が存在できると思っていたが、**労働組合を作った企業が大きくなったという逆説が目からウロコ**だった。

- ・現代の労働組合のあり方とエッセンスが分かった気がした。企業界で最適循環運動が広まれば、日本全体の労働生産性が上がる気がした。
- ・組合員の関心を高めるための具体策をもう少し突っ込んで確認したい。ON・I・ON2調査を行うことでどれくらい組合員の関与が高まるのか知りたい。
- ・実際の共同調査内容を聞き、自組織に活かせるのか？具体的に聞きたい部分もあった。
- ・沢山の要素が詰まっておリポイントが少し見えづかった。

他にも多数のご意見をいただきました。
ありがとうございました。



【事務局より】今回は14組織31名の方にご参加いただき、ありがとうございました。セミナーを通じて得られた気づき、またセミナーの内容については、組織内で共有いただき、今後の活動の取り組みにお役立ていただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。

株式会社 応用社会心理学研究所

〒540-0031 (事務局 末田・藤原)
大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
Tel: 06-6941-2171 Fax: 06-6941-2081

